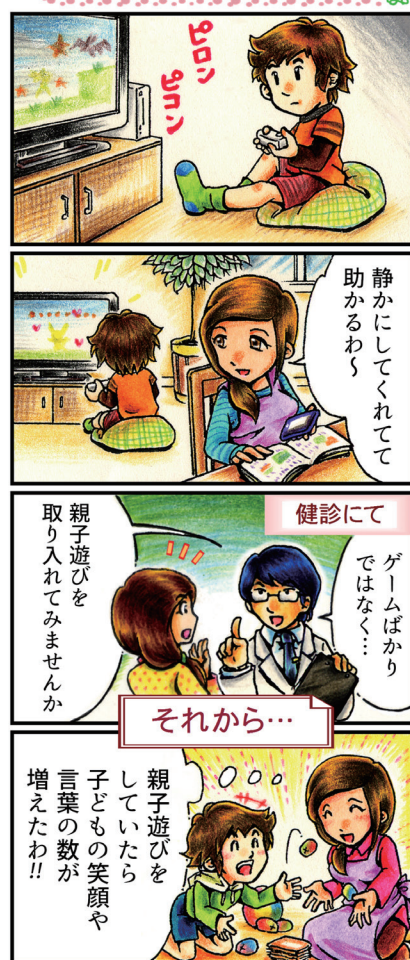


親子遊びでにこにこ家族



親子遊びを通して、会話を楽しみながら親子遊びをすることで、できることや言葉の数が増えていくんだね。

おたたち

相談先

言葉について心配なことがあれば、気軽に保健センター、保育所・幼稚園や学校に相談してください。一人一人のニーズにあった対応ができるように考えていきます。

- | | |
|--------------------------|------------|
| 問 学校教育課学校教育係
(幼稚園・学校) | ☎ 985-4134 |
| 福祉課児童福祉係(保育所) | ☎ 985-4114 |
| 健康課保健センター係 | ☎ 985-4118 |
| 子育て支援センター | ☎ 985-4151 |

お手伝い

料理、皿洗い、洗濯物たたみ、台ふき、動植物の世話などから、自分がしたことを振り返って話すことで、体験したことを言葉で表現する力が育ちます。



指遊び

あやとり、折り紙、ぬりえなどを一緒にしながら、相手のペースに合わせ、分かりやすい単語で話すことで、相手に合わせて話す力が育ちます。



体遊び

縄跳び、じゃんけんゲーム、ケンケンパ、体操、鉄棒などで体力作りをするとともに、感想を言い合うことで、気持ちを言葉で表現する力が育ちます。



手つなぎ鉄棒

親子遊びを通して言葉の力を育てませんか

子どもは、家族との会話や遊びを通して言葉を身に付けていきます。普段の生活で、子どもと一緒に楽しめる遊びや手伝いを積極的に取り入れてみませんか。ここでは、子どもの言葉の発達につながる楽しい遊びとそのコツを紹介します。

歌や読み聞かせ

歌や読み聞かせで言葉数を増やしたり、言葉の使い方を覚えたりすることができます。

今度は、ゆっくり歌ってみるよ。



言葉遊び

しりとり、なぞなぞ、さかさ言葉、カルタ、インタビューごっこなどで、言葉を使う楽しさを体験することができます。

お母さんは「ごんり」が好き。分かるかな？



さかさ言葉を使いながらインタビューごっこ

町特別支援教育巡回相談員
愛媛大学教育学部
青井 倫子 教授



自分の思いや考えを表現し伝え合うことで、お互いに相手に対する理解が深まったり、思いや経験を共有できたりすることは、とてもうれしいことであり、私たちの生きる世界を豊かなものにしてくれます。

お子さんが言葉を覚え、使い始めるようになったら、言葉を使うことに意味と喜びを感じられるようにしてあげましょう。

子どもが言葉で表現をするためには、「話したい内容」と「話したい相手」が必要です。お手伝いを一緒にしたり、親子で一緒に遊んだりすると、親も子も互いに「話したい(聞きたい)こと」がたくさん生まれてきます。話したことを「喜んだり褒めたりしてくれる人」がいれば、子どもたちは喜んでもっともっとお話をしてくれるようになります。そうして親子の楽しい時間がどんどん広がり、お子さんの言葉の世界もぐんぐん育っていきます。まだまだ不十分な話し言葉であっても、子どもが伝えようとしていることを理解し、ゆったりとした雰囲気の中で、言葉を補いながら対話をしてあげることが、子どもの言葉を温かく豊かに育みます。